

平成23年度 分掌・学年努力目標

他の分掌・学年の評価をお願いします。

[4:大変良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない]

分掌名	目 標	具体的方策	目標数値または期間	年間反省	問題点・課題等
教務部	校務の円滑な運営を図る	主任会を通して他分掌との連携を図り学校行事の円滑な運営に努め、学校の活性化を図る。	毎月主任会を開催する。	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・教務内規の見直し「定期考査時の携帯電話の持ち込み発覚後の規定」等。 ・図書館利用規程が現状とは違う。 ・考査前の欠点保持者への特別指導・各学期ごとの追試等、来年度も続けるのならば、もっと協議が必要。 ・モートルの印刷業務が大変だった。印刷室の整理が必要。 ・教務部会を開いて仕事の確認をしっかりとスムーズに取り組むことができた。 ・朝の読書の時間の取り組みが全職員でなされてきた。 ・図書ではシリーズ本の欠本補充や黄ばんだ本の交換。図書室や司書室の整理をモノへの執着を捨てること、つまり、断捨離で完璧に行った。 ・成績上位者の成績を3年間伸ばし続けられるカリキュラムを研究したい。 ・モートルを行うことにより生徒の学力把握につながった。 ・朝会の連絡事項は、前日までにできるだけ詳しく書いてほしい。見るだけでわかる黒板を目指しています。 ・体育祭のPTAバザーに代えて文化祭でのバザーは好評だった。 ・波佐見への初めてのPTA研修旅行も好評だった。 ・2年目になる8/9の「平和を考える日」では、記念式典のライブ映像による黙祷は臨場感あふれる平和学習であった。次年度は体育館にテレビ線を引いてほしい。 ・授業担当者が、出席簿に確実に欠課を記入することが大切。 ・保護者アンケートは記名式にして、2年目を迎えるが、回収率は、95.9%と高かった。
		生徒用机・下足箱など教育環境の整備に努める。教育環境の整備に努める。	年度末におこなう。	3	
		生徒の実態を踏まえ、学習内容を評価できる取り組みをする。	3月までに新内規の不備を確認する。	2.8	
	授業の充実に努め、学力の向上を図る	行事の精選や時間割の調整・変更をおこない授業時間数の確保に努める。	1単位あたり30時間以上の実施授業時数を確保する。	3.4	
		教科ごとに研究授業、公開授業を実施する。	各教科1回以上実施する。	3.6	
		シラバスを作成し、より充実した内容への点検作業を実施する。	年度末までに次年度分を作成。各学期終了後点検。	3	
	生徒の進路希望に対応できるコース制を研究する	授業評価を実施し授業研究に努める。	7月・12月に実施。	3.6	
		生徒の進路希望や実態を取り入れた教育課程を編成する。	7月中旬までに終了	3.2	
	PTA・地域社会との連携をはかり教育効果を高める	魅力あるコース制の研究に努める。	年間を通しておこなう。	3	
		地域社会及び中学校との連携を深める。	随時	3	
		H P ・学校新聞を利用して学校のPRに努める。	毎月の更新を促す。学校新聞を毎月発行する	3.2	
	教職員の各種研修・研究を推進し、教育活動の活性化を図る	PTAとの相互理解を深め、活動の活性化を図る	各種行事、随時	3.2	
		各種職員研修や報告会を定期的に開催する。	教務、生徒指導、保健相談に関わる研修会を各1回以上おこなう。	3.4	
		紀要の発行をめざし、研修の充実に努める。	隔年ごと3月に発行する。(来年度が発行年)	2.5	
	読書活動の推進と図書館の充実に努める	教科会等を利用して指導法の研究に努める。	研究授業、公開授業実施時	3	
		「読書の時間」等を通して、生徒の読書量を増やしていく。	毎日「朝読書」を実施する	2.8	
	環境美化	生徒の興味・関心を促すような図書を購入し、図書館の充実に努める。	年2回希望図書の購入をおこなう	3.4	
		・掃除の徹底	2週間に1回は必ず掃除箇所の点検をして不備な箇所の把握を行う。	2.4	
		・掃除監督の徹底	生徒会の委員会活動を利用して掃除監督者との連絡指示を徹底する。	2.8	
	施設・設備	ゴミの分別	毎日、係の美化委員で整理する。	2.8	
掃除用具の整備、点検		各学期ごと、最後の掃除で整備点検する。	2.8		

分掌名	目 標	具体的方策	目標数値または期間	年間反省	問題点・課題等
生徒指導部	基本的生活習慣の確立	「指導カード」により容儀指導の徹底を図る。	毎月、容儀指導強化週間を設けて指導を行う。	3	<ul style="list-style-type: none"> 容儀検査を体育館で一斉にすることで、徹底した指導が可能になった。 生徒指導部と学年等の連携がよく成されている。
		公と個の場面を理解して、自らの行動を律することができるようにする。	集会時の整列・私語厳禁・美しい容儀について全職員一体となって指導を行う。	4	
		時間厳守指導の徹底を図るため、全職員が授業の開始時間を厳守する。	毎授業時におこなう。	3	
	公共心の育成	乗車マナーの向上を図るため、JRおよび島鉄の乗車指導を徹底する。	年間10回の乗車指導を実施する。	3	
生活委員会の充実	挨拶の励行を図るため、職員・生徒が一体となり挨拶運動を推進する。	年8回、生活委員と一緒に登校指導をおこなう。	4		
	駐輪場の整理整頓および安全確認に努める。	月1回生活委員で駐輪場の整理整頓および二重ロックの確認を実施する。	2		
分掌・学年等との連携	生徒の実態把握と理解を深めるため各学年・分掌との連絡を密にし、指導の強化を図る。	各学年主任・分掌主任と毎月1回は会合を持つようにする。	3		
	学年・分掌と協力して、リーダーの育成を図り、生徒の自主性を育む。	年間2回のリーダー研修合宿を学年・生徒会と連携して実施する。	3		
進路指導部	学習の定着と基礎学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査実施と学力向上につながるような補習・模試の実施 学力のデータを分析し学年や教科と共有し、有効活用 土曜日や長期休業中の学習会で学習習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査、志望校調査（年3回）を実施 補習、模試受講者の出席率90%以上 夏季学習会と冬季学習会の実施 各学年・教科と連携をとり、学力検討会を実施 3学年は志望校検討会等を年4回実施 	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 3年生においては進路希望調査は、時期に応じて実施できた。 模擬試験の受講者数は、目標をクリアできたが補習の出席率に問題がある。 学習会においては、先生方の協力で計画通り実施できた。
	個々の進路意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 全体及び学年ごとの進路講演会や進路ガイダンスの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会やガイダンスを学年ごとに年2回づつ開催 週1回朝の10分での東志等の実施 受験前に各3年生徒5回以上の模擬面接 1年生の学校・職場見学への協力 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 就職試験は以前として厳しい状況である。1学年から基礎学力と欠席に対する指導を徹底する必要性を感じる。 各学年の協力により講演会やガイダンスは、計画的にやれ生徒の意識向上に役立った。
	進路情報の提供 進路室の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望を把握し、適切な進路情報の精選と迅速な提供 ファイナシステムなどによるきめの細かい成績分析を実施 進路指導室の資料の整備活用とLHR等の時間を利用促進 進路に関する情報を収集し保護者への情報提供の場を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 各クラスに進路に関する情報誌等を年6冊配布 ファイナシステムなどにより担任に学期に1回資料提供 	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 業者からの情報誌等を時期に応じて配布した。 年度途中のパソコンの切り替えによりファイナシステムを上手く活用できなかった
生徒会指導部	自治能力の育成	他校生徒会との交流を図る。	年に1回以上、他校生徒と交流する機会を設ける。	3.6	総文祭を通じて交流を図ることができた。
		新役員研修を実施する。	7月に実施する。	3.6	実施することができた。新役員の意識も高まったようだ。
	活動の活性化	行事を通して、生徒間あるいは生徒教師間の交流がなされ、個々の生徒の能力が発揮されるよう、内容を工夫する。	前年度の内容を一つ以上改善する。	3.2	歓迎遠足のレクリエーション、文化祭での全校合唱など、アイデアを出して取り組めた。
		行事のスムーズな運営に努める。	行事の一週間前までには実施要項を提示し、周知徹底を図る。	3.4	大体スムーズに運営することができた。
		各種委員会において、具体的な活動内容を定め、各分掌と連携しながら取り組む。	取り組む内容を具体的に二つ以上決めさせる。決めた目標について全校生徒に周知徹底を図る。	3.2	各委員会で決定した目標を教室掲示し、生徒の周知に努めた。今後も更なる活動の活性化が課題だ。
		入部状況の調査を定期的に行い、各学年と連携して、無所属生徒の活動の場を設ける。	4月、9月、12月に実施。	3.4	部活動再編成集会を行い、1年生の入部を促す効果が上がった。継続させるためのしぐみが課題。
		新部長に対する研修を実施する。	高総体後に実施する。	3.2	
	学校HPを活用し、生徒会活動や部活動の広報に努める。	更新すべき内容がないか、毎月検討する。	2.8	大会結果の更新があまりできなかった。	
	活動等の見直し	部室の使用状況を定期的にチェックし、部室を適正に使用するよう指導する。	年間5回部室の使用状況のチェックを行う。	3.8	部室の清掃、部室の鍵の管理など十分行えた。
		生徒会誌の内容の精査改善を図る。	学期に1回、生徒会による編集委員会を開く。	3	学期に1回の委員会は開くことができなかった。
会則・内規・申し合わせ事項の運用状況を確認し、必要に応じて見直しを図る。 また、長期的な展望に立って生徒会予算を編成する。		2学期終了までに部内で検討を行い、3学期の部顧問会・職員会議に諮る。	3	2学期終了までには提示できなかったため、早急に取りかかり、部顧問会・職員会議に諮る準備をしたい。	

分掌名	目 標	具体的方策	目標数値または期間	年間反省	問題点・課題等			
保健相談部	規則正しい生活習慣の確立	・自己管理能力の具体的な手だての実施	『保健便り』を年間9回発行し、啓発する。	3.6	『保健便り』の発行・年2回の安全衛生委員会の開催など、おおむね予定通りにおこなうことができました。			
		・健康診断の事後指導の徹底	該当生徒の保護者への連絡を徹底する。	3.4				
	安全で衛生的な教育環境の整備	・救急の場合の円滑な生徒への対応の実施	校医との連携をスムーズに行い安全面の強化を図る。	3.6				
		・安全衛生に対する知識と理解の深化	安全衛生委員会を2回開いて、問題点の解決を図る。	4				
	学校生活への適応援助活動の徹底	来談生徒への受容的態度の徹底、心を開く環境作りの実践	昼休み・放課後は、原則として誰かが相談室に常駐する。	3.4		特に、2学期以降1年生がカウンセラー室を頻繁に利用するようになり、学年との連携・部内での情報交換など十分とはいえなかった。		
		不適応生徒の早期発見・支援	年間20回以上部会を開き、情報交換をする。	2.8				
		いじめの予防・解消、各種調査の実施と分析	いじめ調査は年3回、悩み・意識調査は年2回実施し、分析・報告する。	3.6				
		生徒理解のための、心理テストの実施と活用	内田クレベリン・シグマ検査の報告会を、1・2学年に1学期中に実施する。	3.2				
	各分掌・学年・スクールカウンセラー・保護者・中学校・外部機関との連携の深化	特別支援コーディネーターとスクールカウンセラーの連携を強化	A T合格者発表後、気になる生徒が在籍する中学校訪問を計画・実施する窓口となる。	3.2			各種調査の集計など、ご協力ありがとうございます。内田クレベリン・シグマ検査の学年への報告会を実施しませんでした。申し訳ありません。A T合格発表後の中学校訪問へのご協力をお願いします。	
		事例研究などをすすめ、職員の共通理解を深化させる職員研修の実施	年間2回は行う。1回目、夏季休業期間。2回目3学期。	3.2				
地道で円滑な奨学金の運営	各種奨学金の紹介、手続きの徹底	必要に応じて、生徒・保護者への説明会を適宜行う。	3.4	各種奨学金の案内・保護者への説明など地道におこないました。第2回職員研修を2月24日（金）に予定しています。				
教育活動の土台としての人権・同和教育の推進	生徒間に自尊感情・思いやりの心を育成	2学期に講演会を実施する。適宜、機会をとらえて集会などで呼びかける。	3.6					
事務部	組織的取組の推進	・学校窓口としての認識（丁寧な来客・電話対応等）	随時		3			・全員が、給料を銀行振り込みにしたので業務がスムーズに運ぶようになった。 ・浄化槽清掃に伴う水漏れでは迷惑をおかけしました。 ・NEWSの導入により、パソコンの処理スピードが遅くなるなどの現象が現れた。可能な限り高性能のパソコンを準備したい。
		・教育行政の円滑化（県教委・校内とも早期の報告・連絡・調整）	随時		3			
	予算執行の適正化	・長崎県財務規則に則った計画的かつ適正な予算執行に努める	随時		3			
	施設設備の改善	・長期的展望と生徒の目線に立った改善に努める	学期に1回以上安全点検を行う		3			
	環境美化（対策）	・節電・ゴミの減量化・分別の広報と実践（教職員・生徒）に努める	適宜行う		3			
1学年	生活指導の充実	・挨拶の励行、その場に応じた言葉遣い、適切な表現力を身に付けさせ、礼儀正しい生徒を育てる。	宿泊研修を中心に事後指導を実施し1学期中		2.7	・生徒指導では問題を抱える生徒が多く担任は苦勞した。 ・特に冬場になって遅刻・欠席をする生徒が目立った。 ・朝読書はクラスによっては私語が多く改善の余地がある。 ・宿泊研修での登山は見直した方がよい。（距離の負担が大きい） ・掃除の取り組みや言葉遣い・容儀などまだ手をかけねばならない。 ・集会時の整列や廊下での挨拶は改善された。 ・部活が続かない生徒が多かった。		
		・規則を守らせ、品位ある生徒を育てる。	学年集会の講話や行事等機会をとらえて随時おこなう。		2.6			
		・時間厳守を習慣づける。	宿泊研修を中心に事後指導を実施し1学期中		2.6			
		・部活動・学校行事・生徒会活動に積極的に参加させ、学校やクラスへの帰属意識を高めさせる。	部活での活動率90%以上を維持する。	2.3				
	学習・進路指導の充実	・基礎・基本を重視した分かりやすい授業を心がけ、基礎学力の定着を図る。	各教科で研究授業・公開授業を1回以上実施する。	3.3				
		・家庭学習や積極的な質問など、自ら学ぶ姿勢を身に付けさせる。	家庭学習調査を定期考査前に1週間おこなう。	2.2				
		・適切な進路情報を提供し、進路に対する意識を高めさせ、適切なコース選択をさせる。	1年間で個人面談を2回以上実施する。	2.9				
	明るく素直な心の育成	・素直で、思いやりにあふれる暖かい人間関係の確立に努めさせる。	「東治」の時間を10回以上実施して人としての在り方・生き方を考えさせる。	3.3				
		・保護者との連携を密にし、心身共に健全な育成を図る。	欠席・遅刻の連絡は保護者からを徹底し、無断欠席・遅刻がないようにする。	2.7				
	保健・環境美化指導の充実	・健康管理の徹底を図り、遅刻・欠席の防止に努める。	保健便りを活用して3回以上HRで指導する。	2.9				
・掃除の徹底を図り、清潔で明るい学習環境づくりに努める。公共物を大切にすることを育てる。		毎日監督につき指導する。公共物の破損をなくす。	2.9					

分掌名	目 標	具体的方策	目標数値または期間	年間反省	問題点・課題等
2 学年	進路実現のための強みを生徒へ身につけさせる	・生徒や保護者との対話を重視し、落ち着いた学校生活を送らせる。	タイミングを逃さずに、面談や家庭訪問等を行う	3.7	生活態度は1年次と比べ、全般的に落ち着きが見られるようになった。大学進学希望者への個人添削を1年次に引き続き行った。 始業、提出物、掃除は一部徹底できていない面がみられるので、今後とも表示したい。 文化祭ではインターンシップについて壁新聞の形式で発表した。 保護者の協力を得て実施できた。生徒、保護者、教師それぞれにとって有意義な取り組みであった。
		・始業、提出物、掃除の3点について特に徹底した指導を行う。	チャイムと同時に開始、提出物は全て提出、掃除は全員で行う	2.7	
		・年間を通して総合的な学習の時間に進路に関連するテーマを探究・実践させ、発表させる。	文化祭と年度末に発表を行う	2.9	
		・地域・保護者と連携した面接指導を行う。	夏季休業中に行う	4.0	
3 学年	明るく素直な心の育成	「東志」の年間を通して人としての在り方・生き方を考えさせる。	年間16回以上実施する。	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年としての自覚を持って様々なことに取り組んでくれた。けじめのある態度という面ではあと一歩の部分がある。 ・学年・分掌間の連携がとれていなかった。 ・3年次のコース制の在り方について再考すべきである。 ・英検・漢字検・ワープロ等資格取得への挑戦にもっと力を入れるべきである。 ・掃除の取り組みもよくなり、特定の子がさぼっている姿はほとんどなくなった。 ・進学希望者はほとんどが第一希望の学校に推薦で合格できて良かった。
		・さわやかで素直な心を育て、誠実で、思いやりに溢れる暖かい人間関係の確立に努める。	すべての活動において指導する	3.3	
		・学校行事・部活動に積極的に取り組み、最高学年としての自覚を持たせる。	体育祭をはじめとしての諸行事ならびにリーダー研修で育成する。	3.5	
		・保護者との連携を密にし、心身共に健全な育成を図る。	迅速に対応し、理解と協力を得る。	3	
	生活指導の充実	・挨拶の励行、適切な言葉遣いを身に付けさせ、礼儀正しい生徒を育てる。	個人面接も5回以上受けさせる。	2.8	
		・規則を守らせ、集団の中の協調性を尊ぶ精神を身につけさせる。	人に迷惑をかける行動をとらせない。指導カードを10枚以上発行される生徒を出さない。	3.3	
		・面談を充実させ、生徒理解に努め、信頼関係の構築を図る。	機を逃さず実施する。	3.3	
	学習・進路指導の充実	・生徒個々の進路実現に向け、教師間の共通理解を深め、教科・学年間の協力体制を強化し、学習・進路指導の充実と研究に努める。	生徒の志望検討会を5回以上実施する。	2.3	
		・機を逃さず面談し、個々にきめ細かい指導を行い、より高い目標に向かって一意専心させる。	三者面談2回以上実施し生徒面談・声掛けを充実させる。	3.3	
		・生徒・保護者に対して適切な進路情報を積極的に提供し、家庭と一体となった進路指導に努める。	資料の提供・面談・協議を4月から続ける。	2.8	
	保健・環境美化指導の充実	・健康管理の徹底を図り、遅刻・欠席の防止に努める。	出席率98%以上	2.3	
		・掃除の徹底を図り、清潔で明るい学習環境づくりに努める。	毎日、清掃指導にあたる。	3.5	
・施設設備を大切に使用させ、公共心を身につけさせる。		特に美しいトイレ環境維持に努める。	3.3		